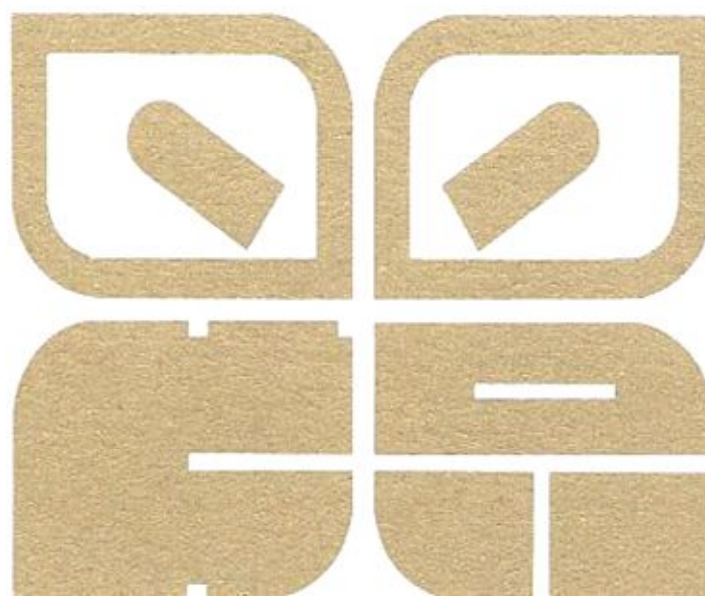


平成24年度・25年度
人権問題に関する村民意識調査



片品村教育委員会

【調査結果の概要】

片品村では、人権の尊重という観点から、女性、子どもたち、高齢者、障害のある人たち、同和問題など、学校・家庭・地域が連携した取組を通して、豊かな心を育む人権教育の推進を進めています。昨年度に引き続き、人権課題への取組の一環として調査を実施しました。

◎調査の概要

○調査対象 片品村在住の20歳以上の男女 約500人

○調査期間 平成24年7月～平成24年9月

平成25年7月～平成25年9月

○有効回収数 平成24年：467人

平成25年：494人

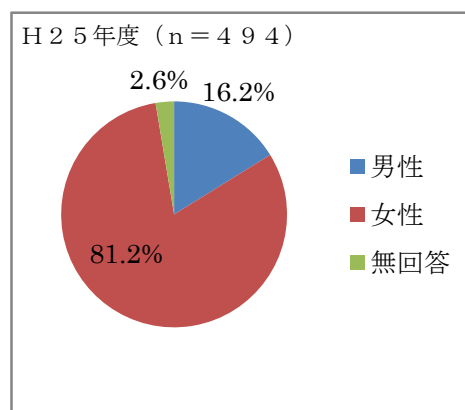
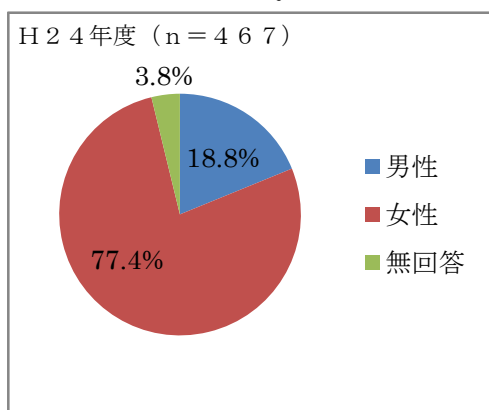
○グラフのみかた

・円グラフは1つのみ選択、横棒グラフは複数回答可の質問内容になっていません。

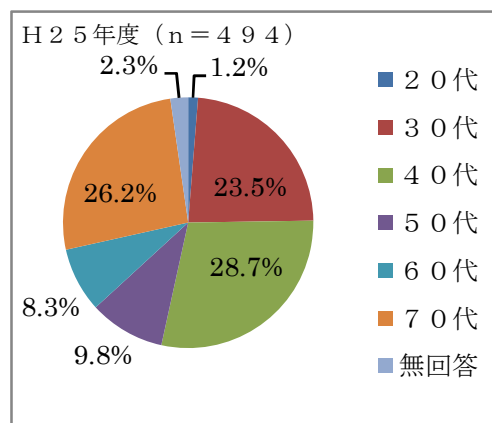
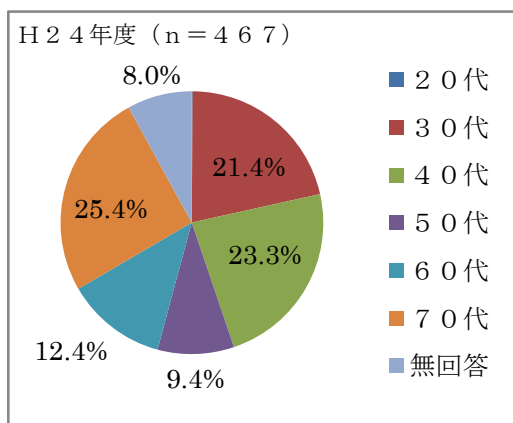
・グラフ中の「n」は、その設問の回答者総数を表しています。

・調査結果の比率は、その設問の回答者総数（n）を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出しています。

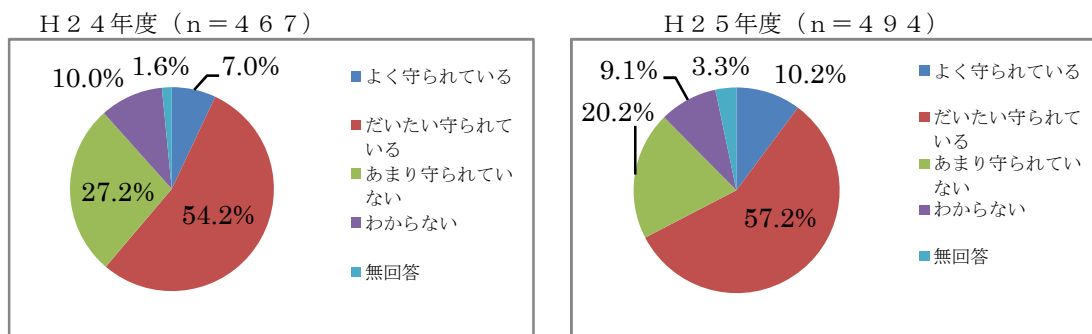
問1 あなたの性別は。



問2 あなたの年齢は。

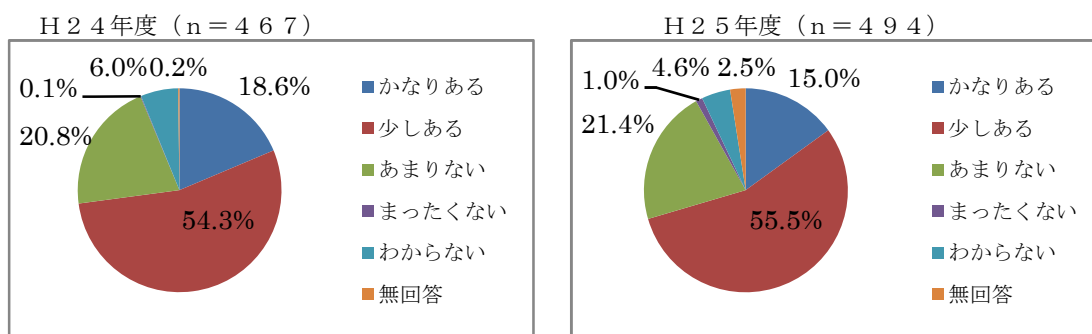


【人権全般】問3 日本の現実を見て、基本的人権は守られていると思いますか。



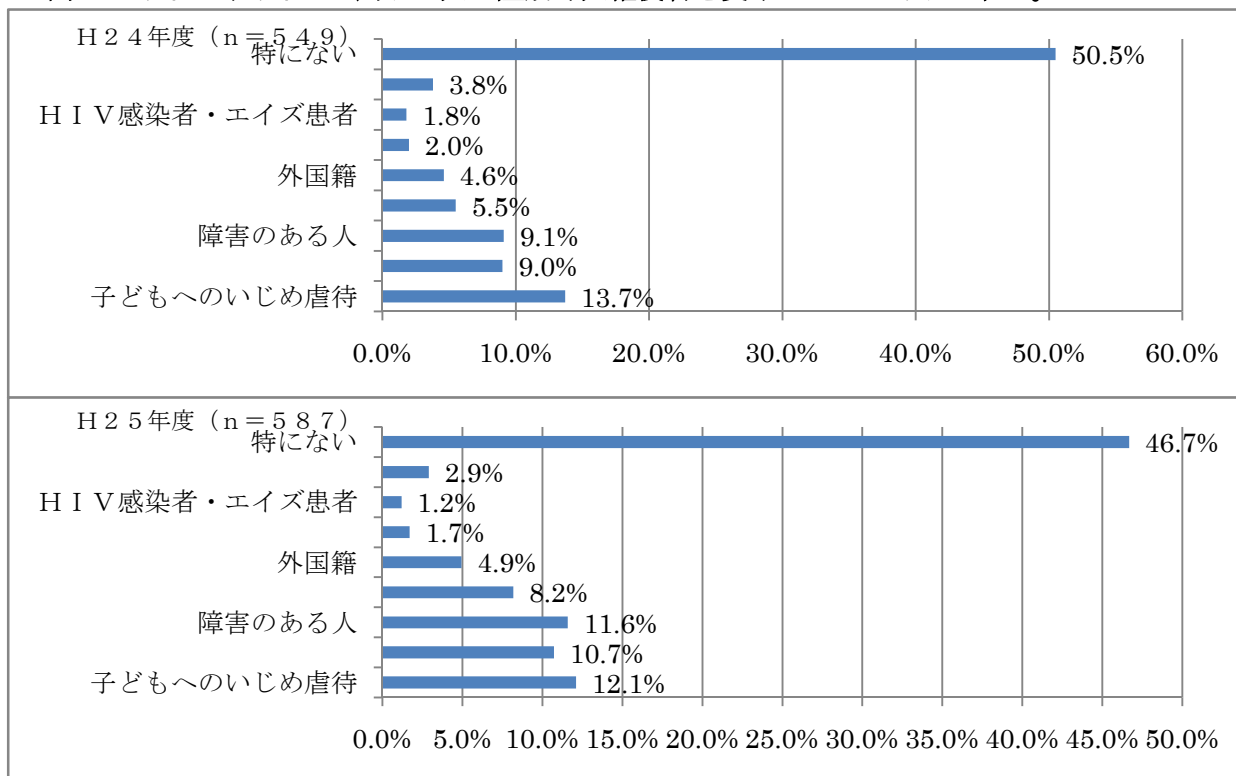
※基本的人権は、日本国憲法において「侵すことのできない永久の権利」として保障されています。

問4 今、人権問題や差別問題に関心がありますか。



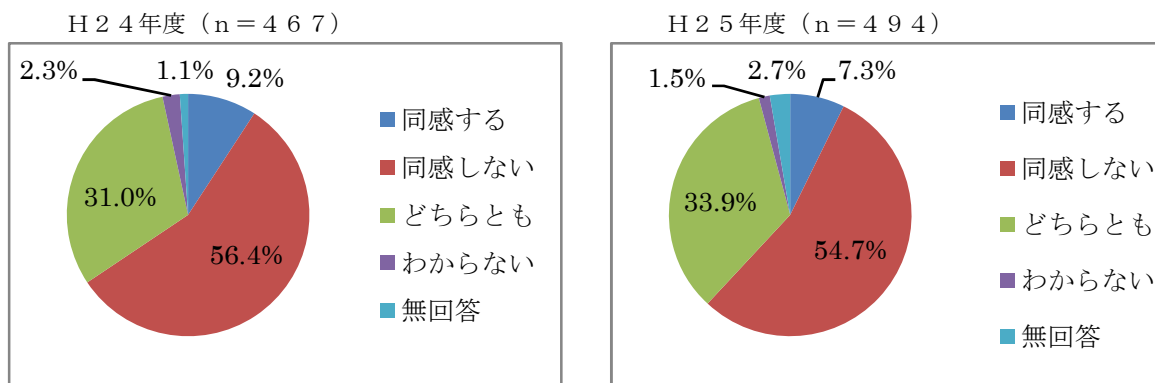
※まずはご家族の人たちと「人権」について話し合う機会を持ってみましょう。

問5 あなたやあなたの周りの人が差別や人権侵害を受けたことがありますか。



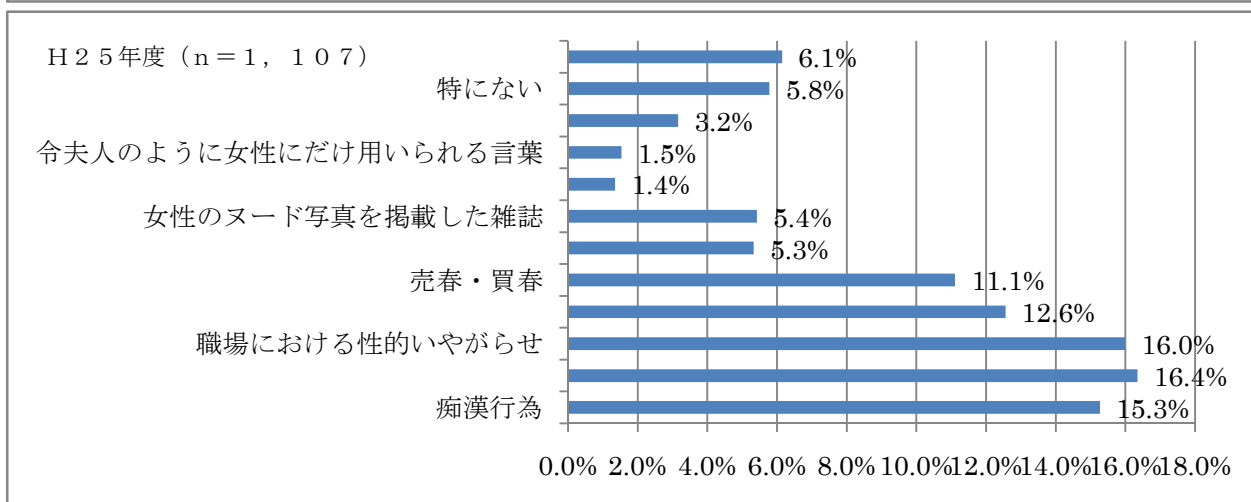
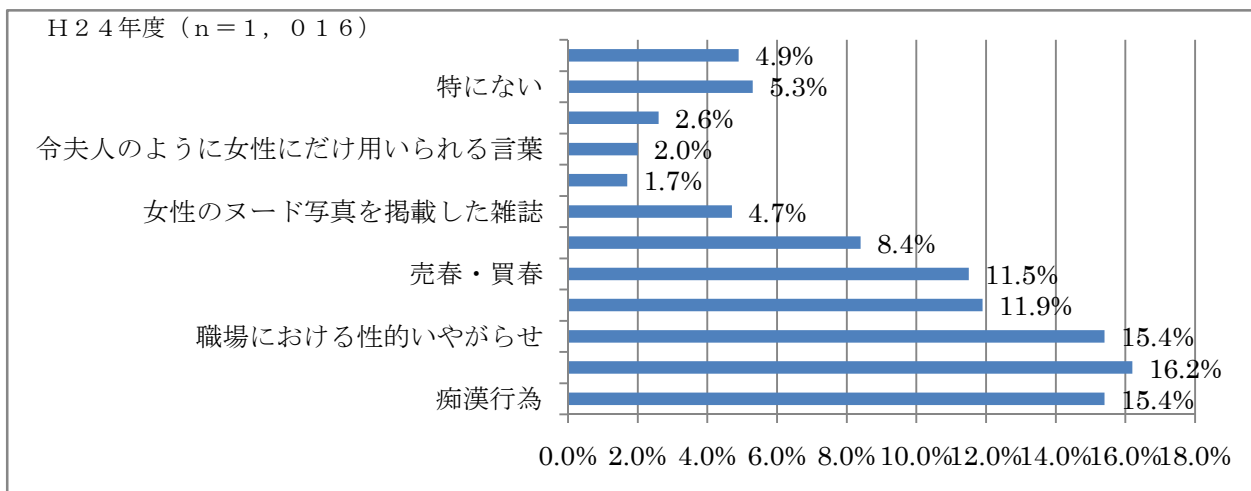
※人権問題に対する正しい理解、認識が持てるように心がけていきましょう。

【女性の人権】問6 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。



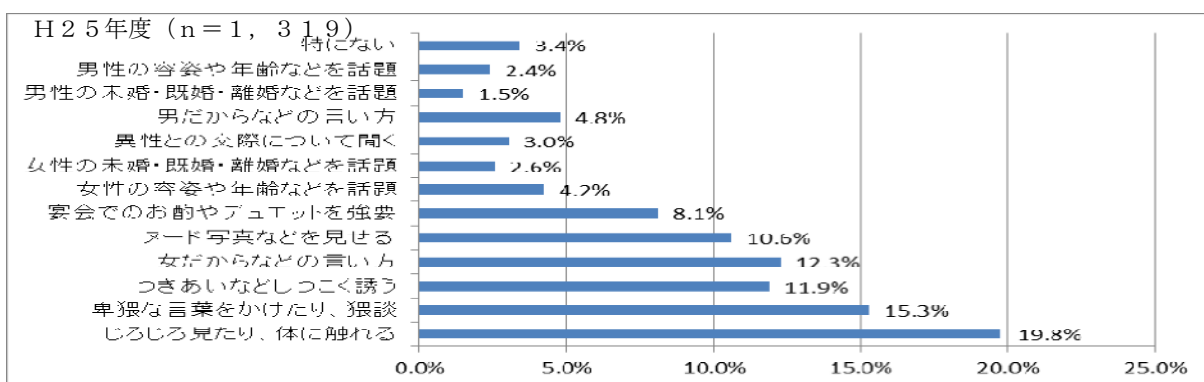
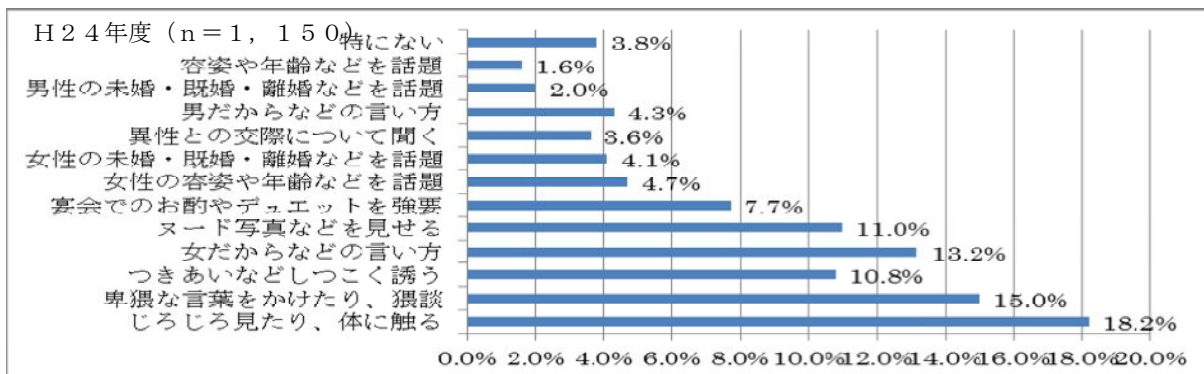
※固定的な性別による役割分担に同感しないとする方が多くなっています。性別の違いなどによる不利益を受ける事のない、自分らしさを大切にできる社会づくりを目指しましょう。

問7 女性の人権が尊重されていないのはどのような事だと思いますか。



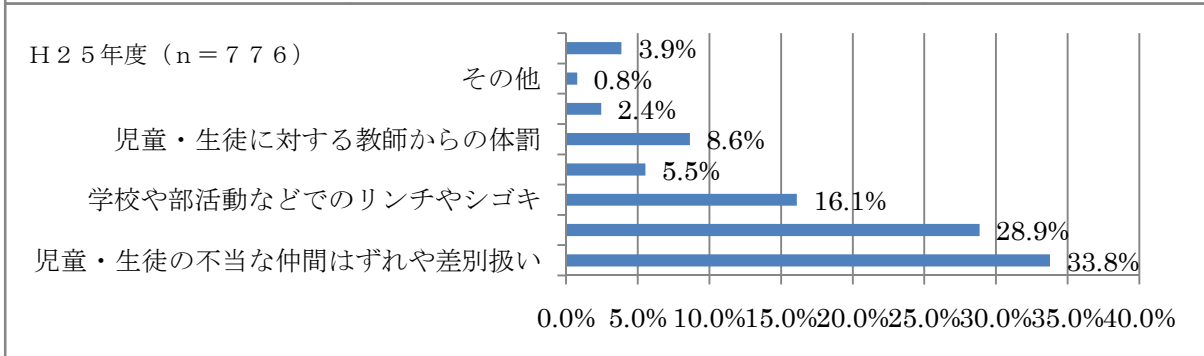
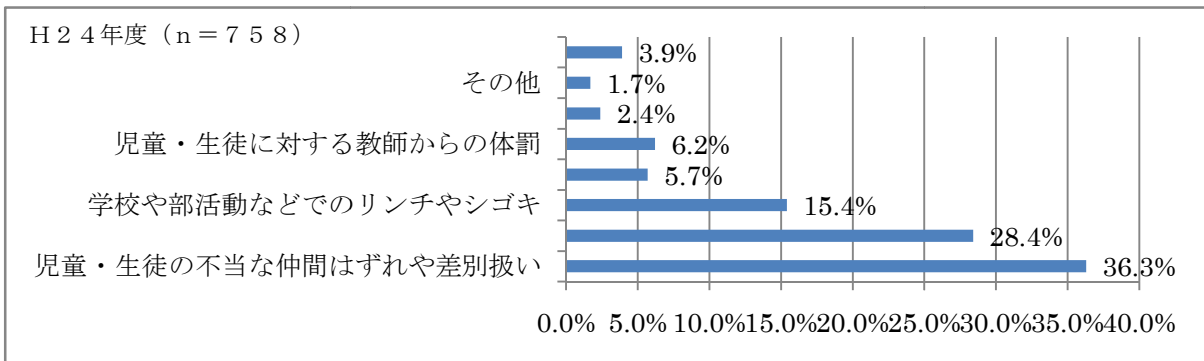
※女性たちは、社会のさまざまな場面で人権が尊重されていないと感じています。性別が原因で犯罪や不利益を受ける事のない安全な社会をめざしましょう。

問8 あなたが性的いやがらせ（セクシャル・ハラスメント）と思うものはどれですか。



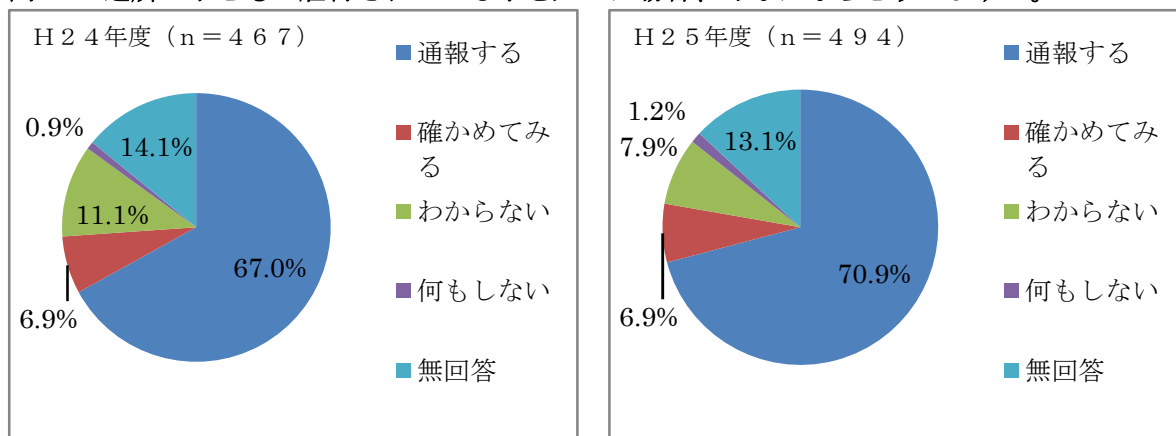
※どのようなものがセクシャル・ハラスメントになるのか、話し合ってみましょう。

【子どもたちの人権】問9 子どもたちの人権問題で特にひどいと思うものはどれですか。



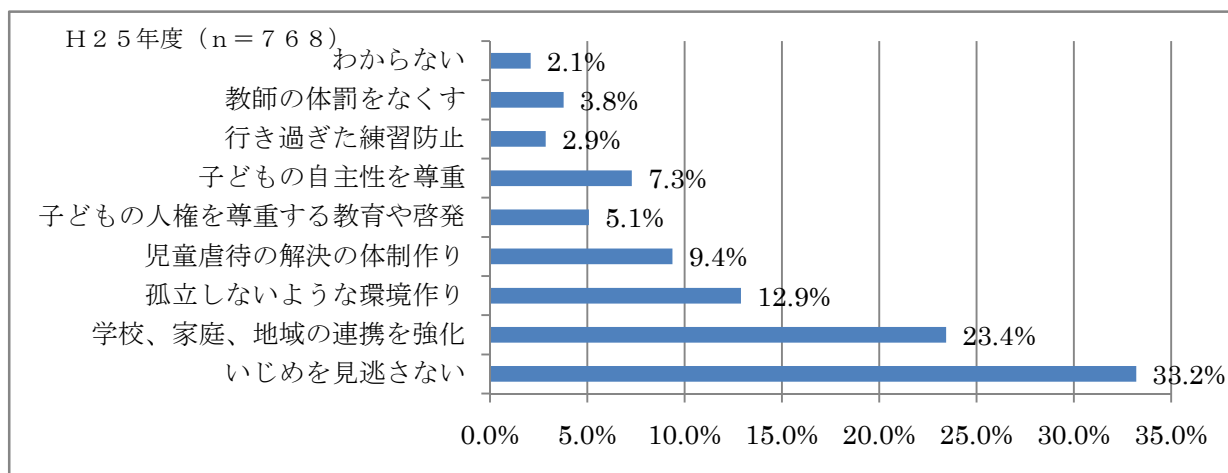
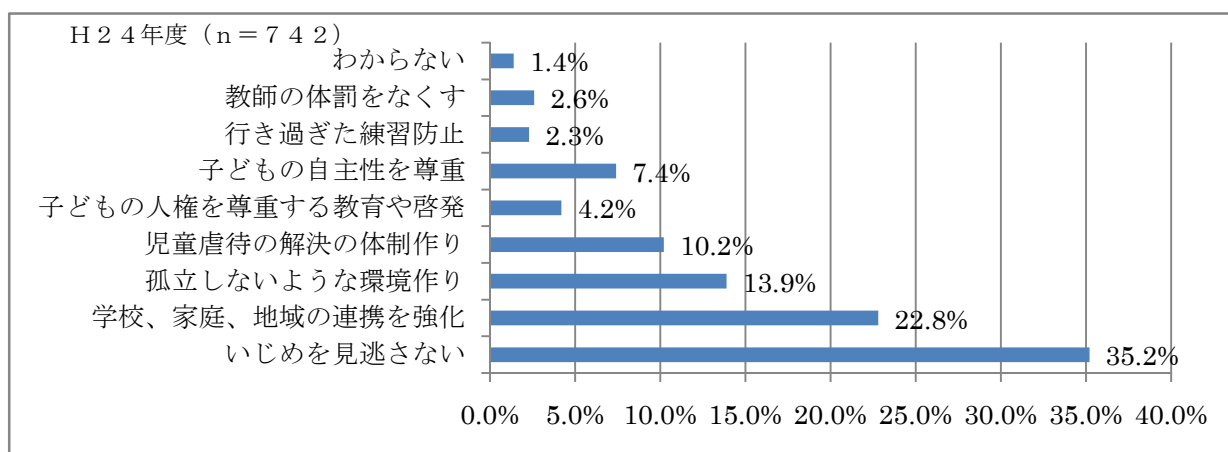
※表面化しにくい「いじめ」や「親からの虐待」を見逃す事のないよう、周囲の『気づき』を高めていきましょう。

問 10 近所の子どもが虐待されている事を知った場合、あなたならどうしますか。



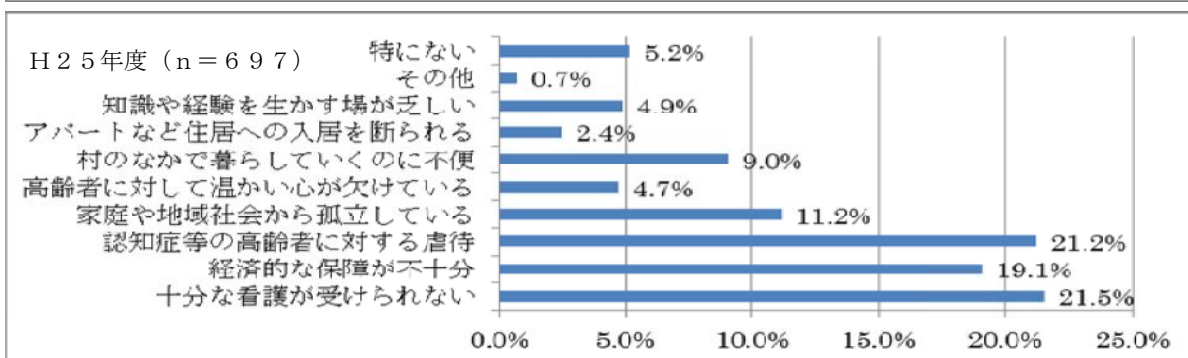
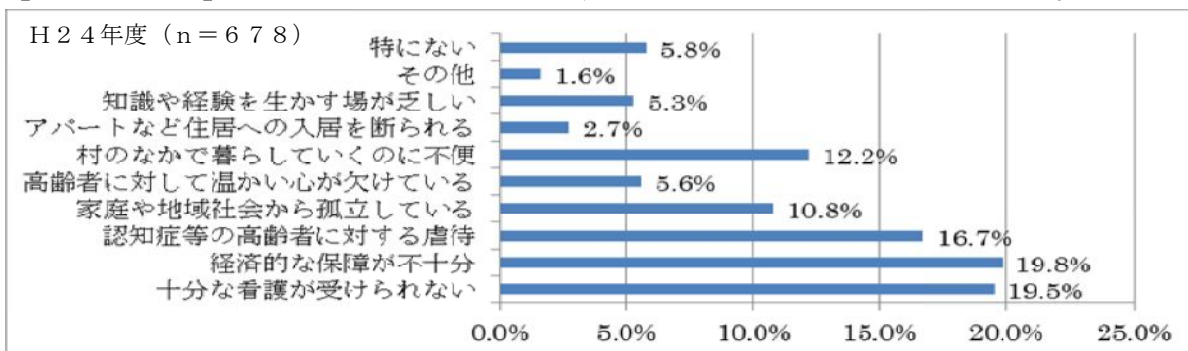
※子育てに対する悩みを抱える親が多くなっています。地域のすべての子どもの心身の健全な発達について常に関心を持ち、子どもと関わりを持ちながら、地域社会全体で子育てを支援していきましょう。

問 11 子どもたちの人権を守るために、大人たちはどうするべきだと思いますか。



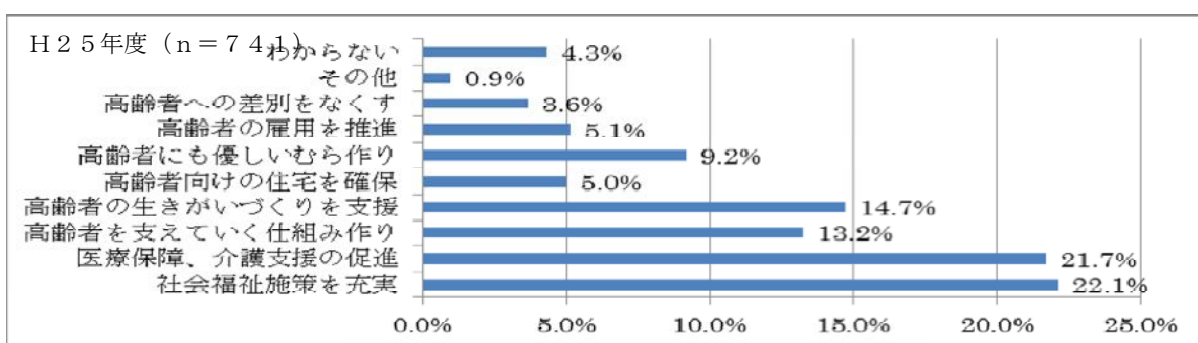
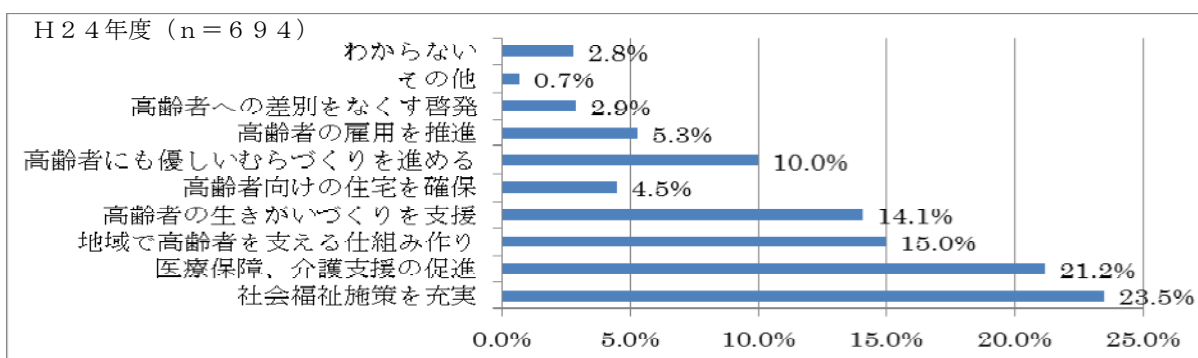
※子どもも一人の人間として、自由に意見を言う権利があります。子どもの意見にきちんと耳を傾けましょう。

【高齢者の人権】問 12 高齢者の人権問題で、特にひどいと思うものはどれですか。



※年齢に関係なく、お互いの人権を尊重し合い、高齢者には人生の先輩として、尊敬や感謝の心で接しましょう。

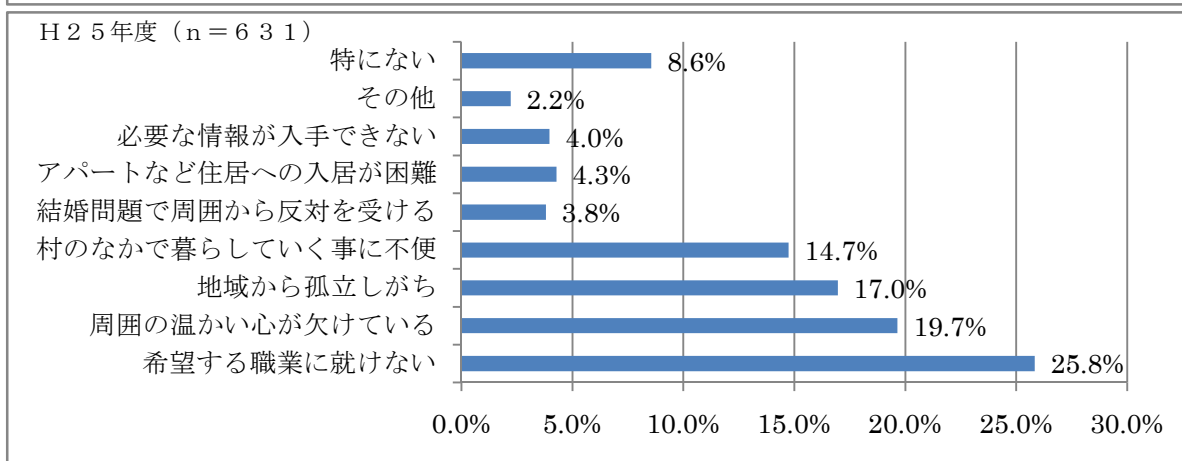
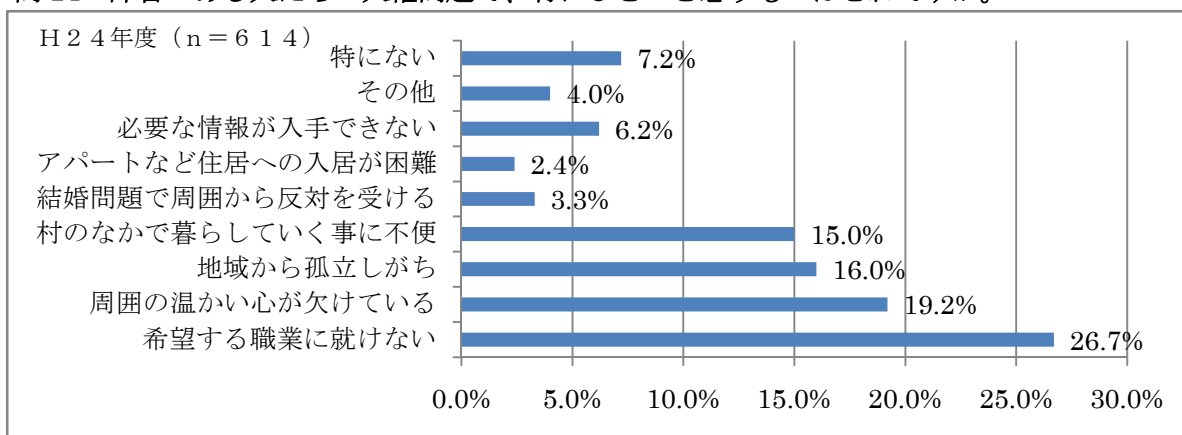
問 13 高齢者の人権を守るために、どんな事を行えばよいと思いますか。



※高齢者も同じ社会の一員です。お互いに知恵を出し合い、助け合う事のできる社会をつくっていきましょう。

【障害のある人たちへの人権】

問 14 障害のある人たちの人権問題で、特にひどいと思うものはどれですか。

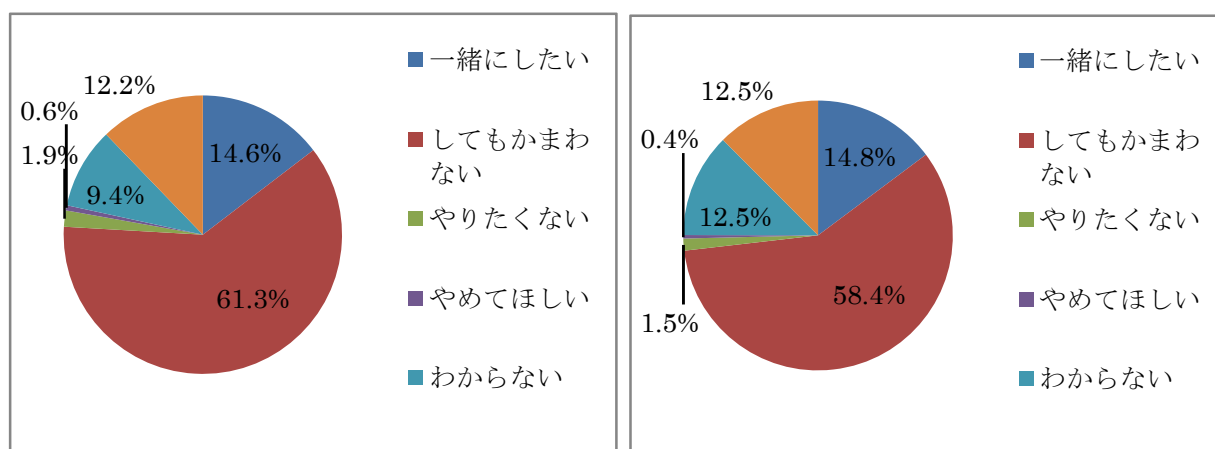


※障害は、人の生涯の中でいつでも生じ得る事です。私たちの身近な人など関係のある人を含めて考えればだれにでも身近な事であり、特別ではないという認識を持ちましょう。

問 15 職場で障害のある人と、ない人が一緒に働く事についてどう思いますか。

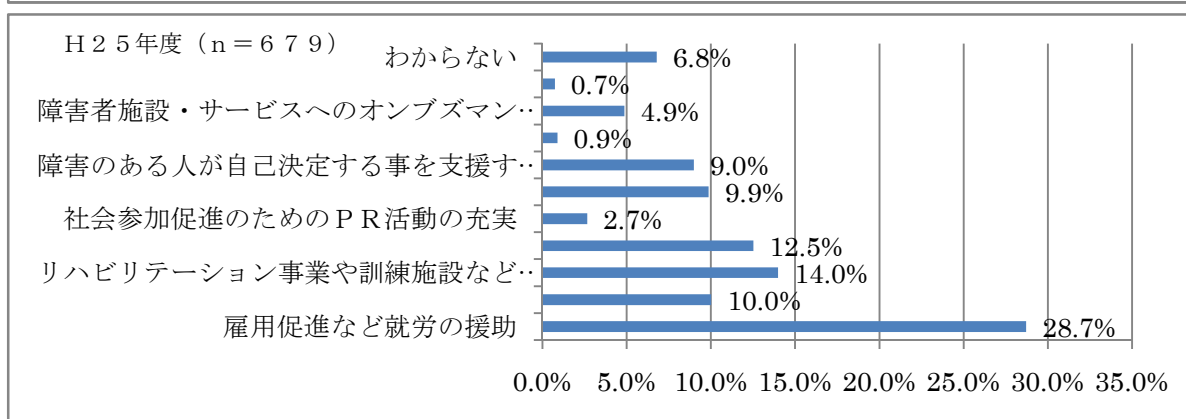
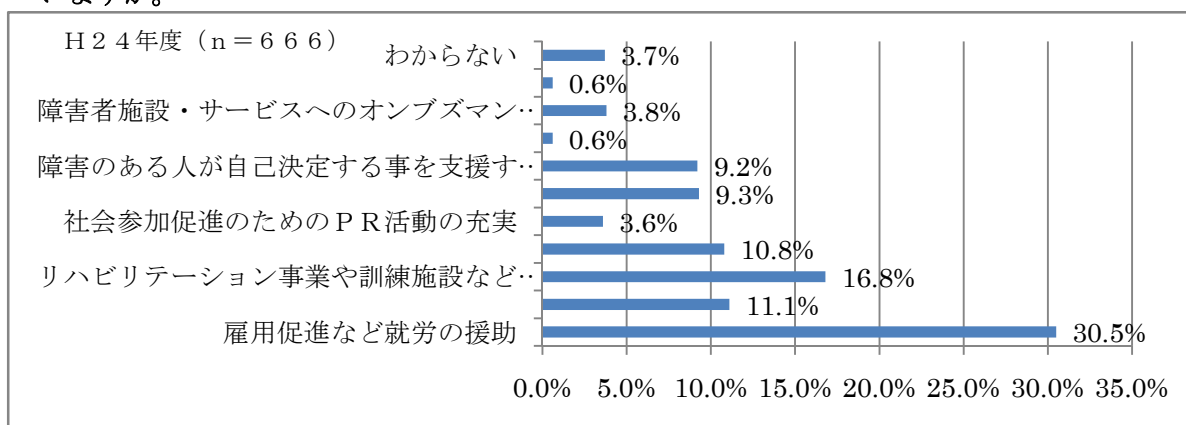
H 2 4 年度 (n = 4 6 7)

H 2 5 年度 (n = 4 9 4)



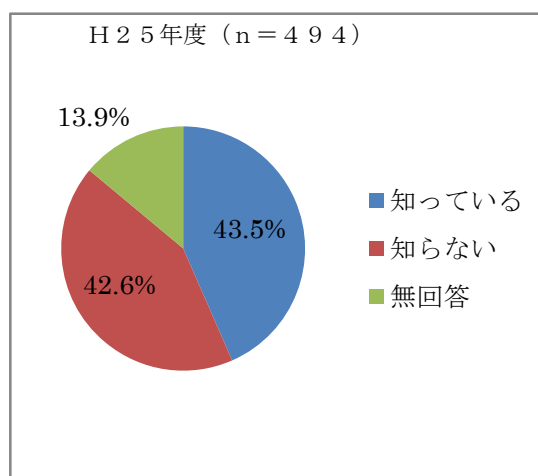
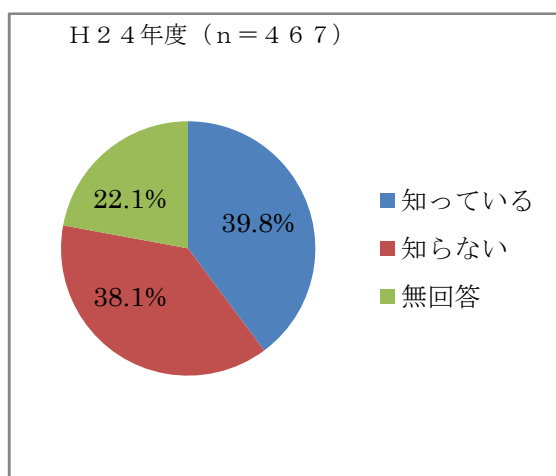
※社会の一員として、お互いの能力を活かして、支え合える環境を育てていきましょう。

問 16 障害のある人たちの人権を守るために、行政はどのようなことを行えばよいと思いますか。



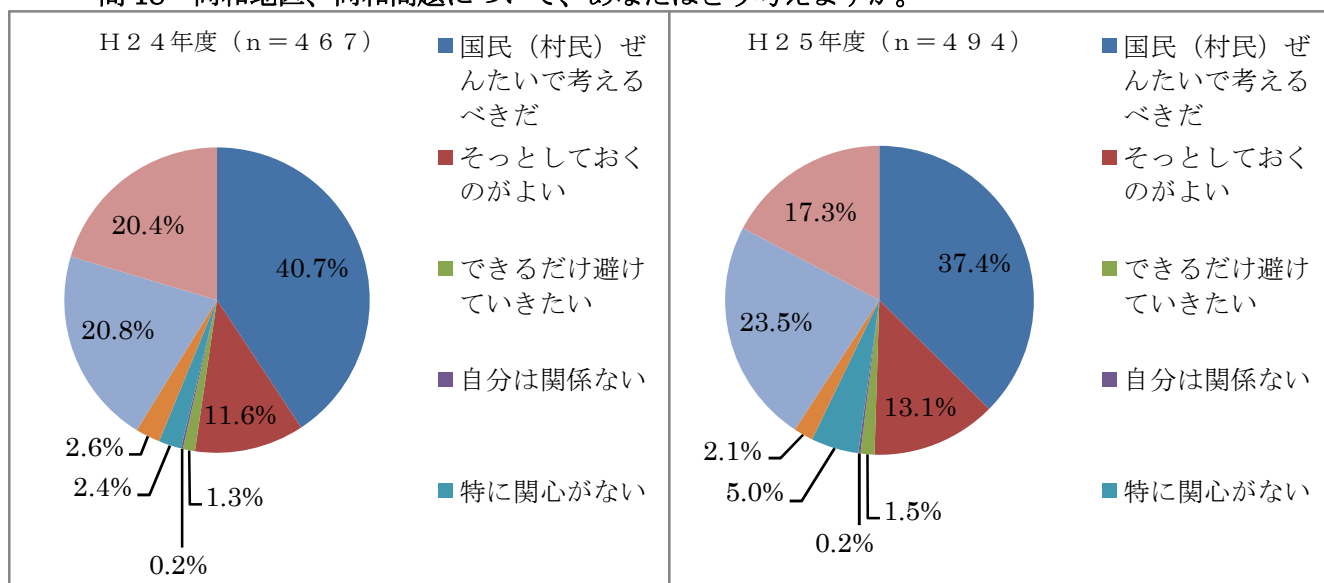
※保護されるべき存在ではなく、一人の人間として全人格を尊重し、住み慣れた地域で共に生活できる社会をつくっていきましょう。

【同和問題】問 17 県内に同和地区（部落）と呼ばれている地区があること、あるいは、「同和問題」「部落問題」「部落差別」等を知っていますか。



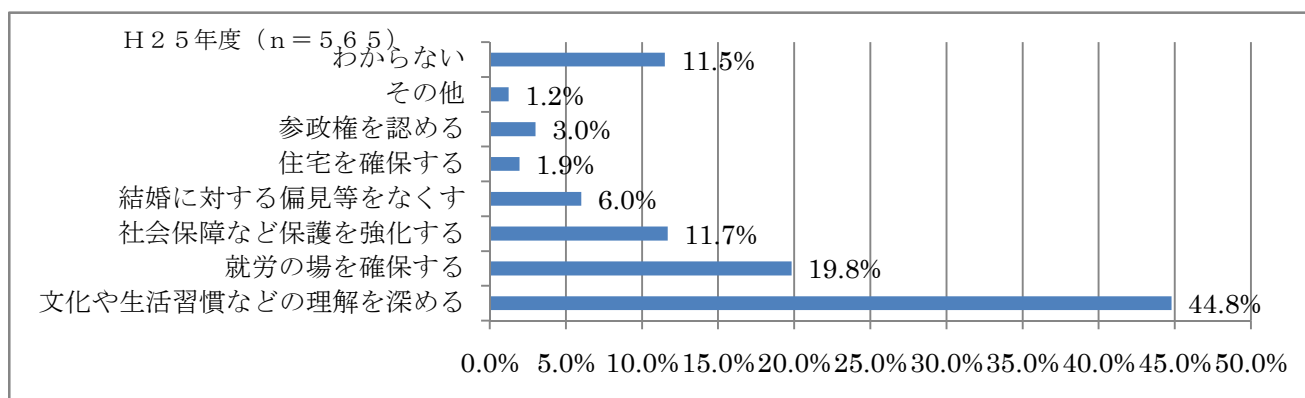
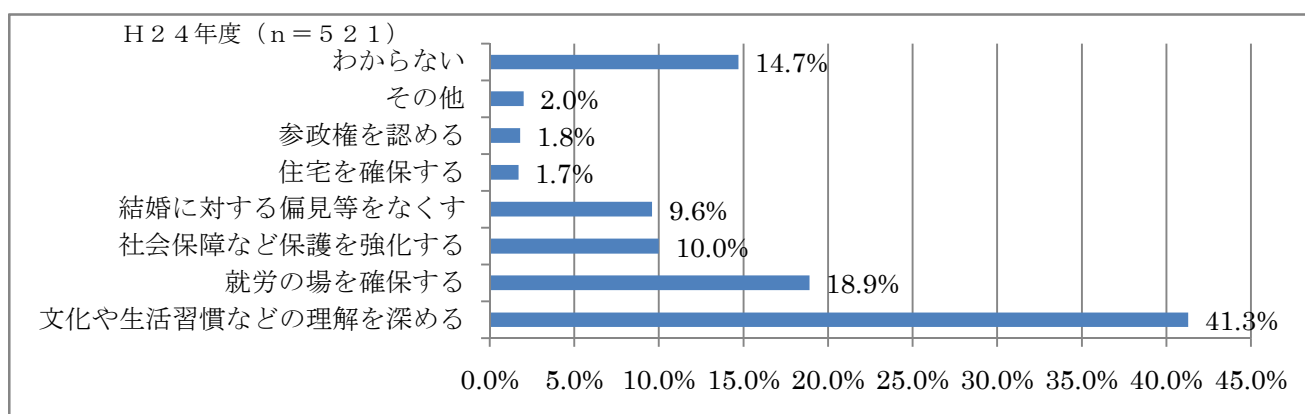
※同和問題についての理解は進んできていますが、未だ十分とはいえません。社会全体で同和問題について取り組んでいく事が重要です。

問 18 同和地区、同和問題について、あなたはどのように考えますか。



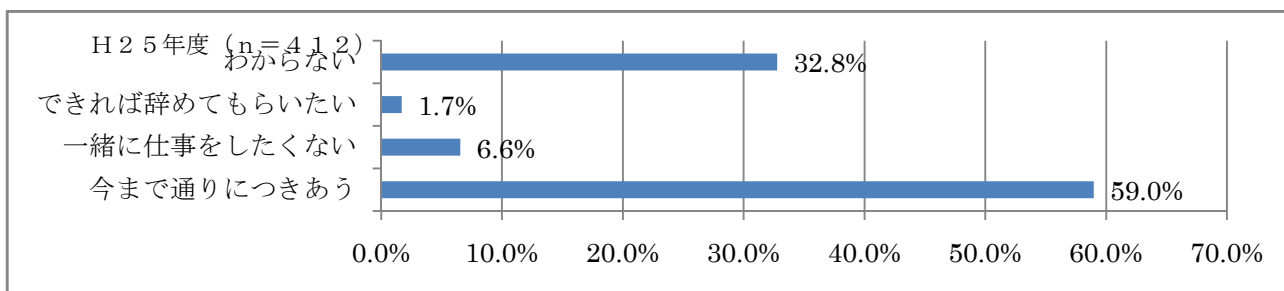
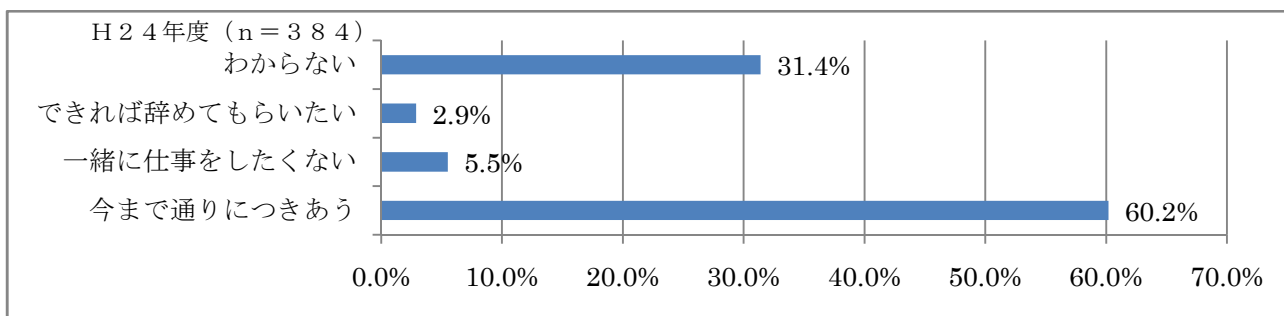
※同和問題は同和地区の人だけの問題ではなく、解決しなければならない重要な人権問題であることをすべての村民が深く認識する必要があります。

【外国籍の人たちの人権】問 19 外国籍の人たちの人権を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。



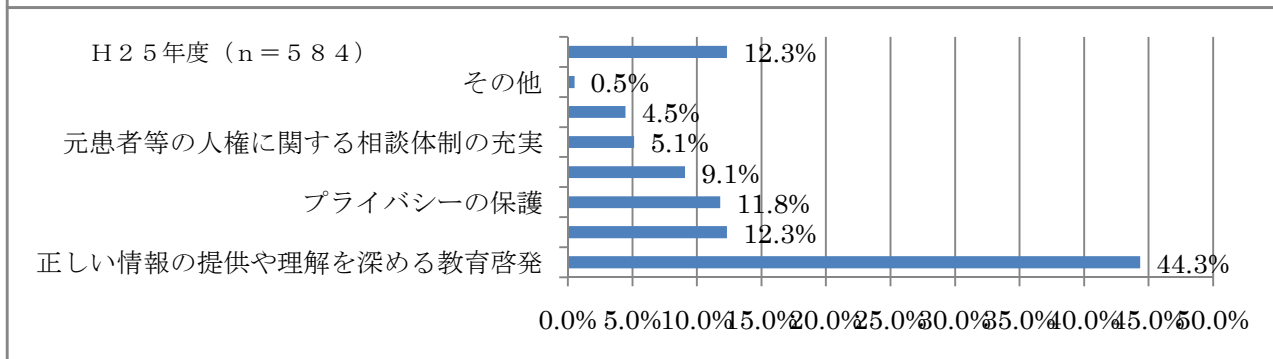
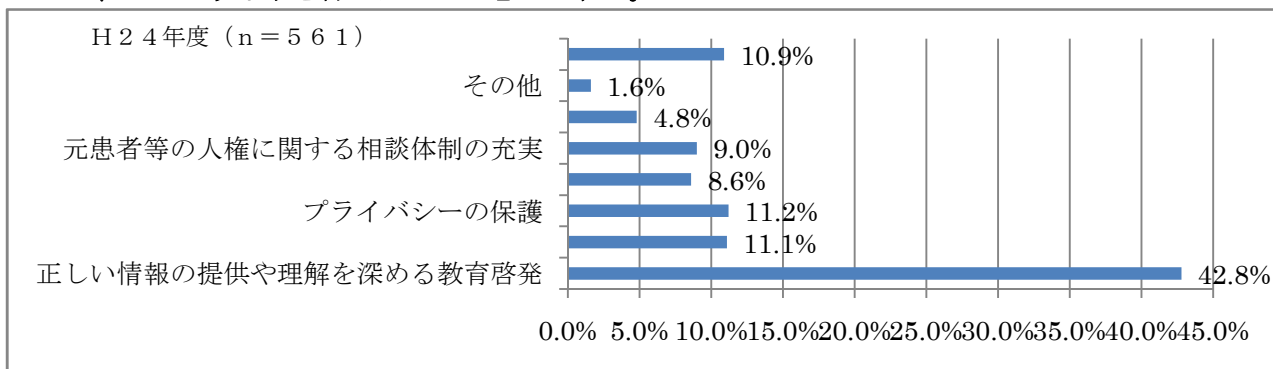
※国際化が進み、多くの外国籍の人達が暮らしています。お互いの習慣や文化の違いを認め合い、多様で豊かな多文化共生社会の実現をめざしましょう。

【H I V感染者等の人たちの人権】問 20 職場の人が、H I V感染者、エイズ患者だとわかったらどう思いますか。



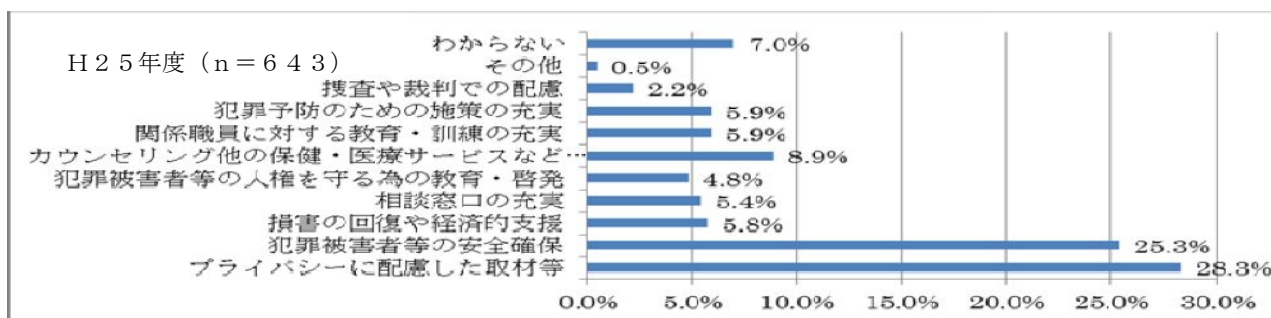
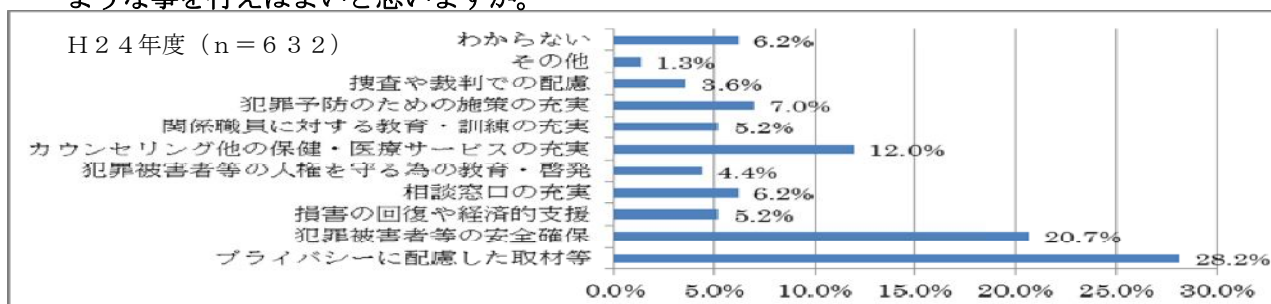
※H I Vの感染力は弱く、性行為以外の社会生活で感染する事はまずありません。感染者・エイズ患者の人達が平等・対等に生きる事ができる社会の実現に向けた努力が必要です。

【ハンセン病元患者の人たちの人権】問 21 ハンセン病元患者の人たちの人権を守るために、どのような事を行えばよいと思いますか。



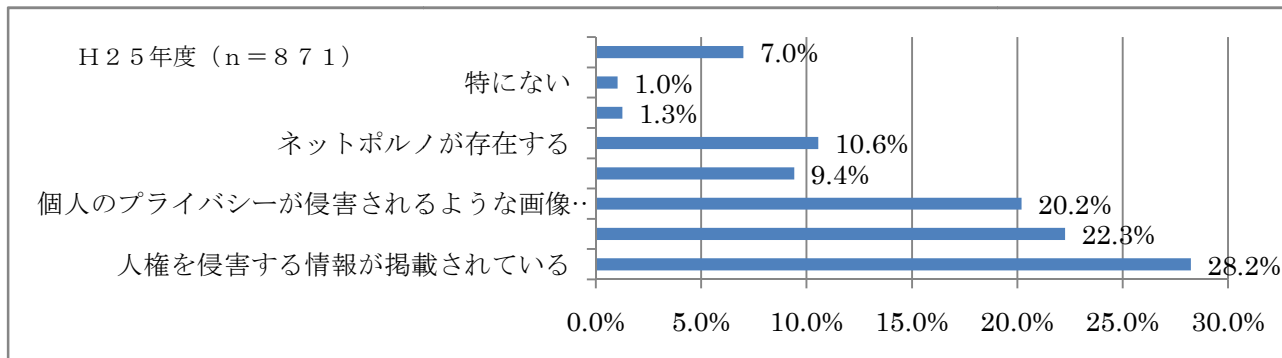
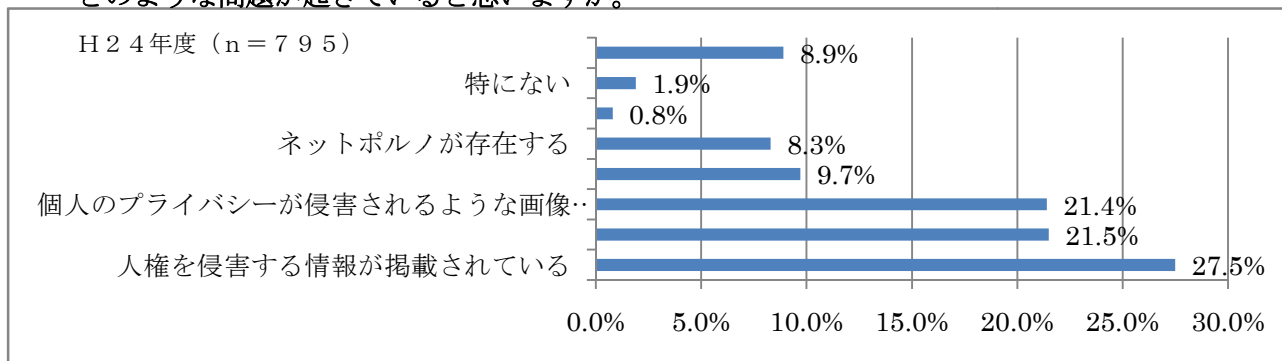
※これまでの長い間の偏見による、誤った知識がまだまだ社会の中に残っています。病気の対する正しい知識を身につけ、元患者の人たちへの理解を深める機会を持ちましょう。

【犯罪被害者等の人権】問 22 犯罪被害者やその家族の人たちの人権を守るために、どのような事を行えばよいと思いますか。



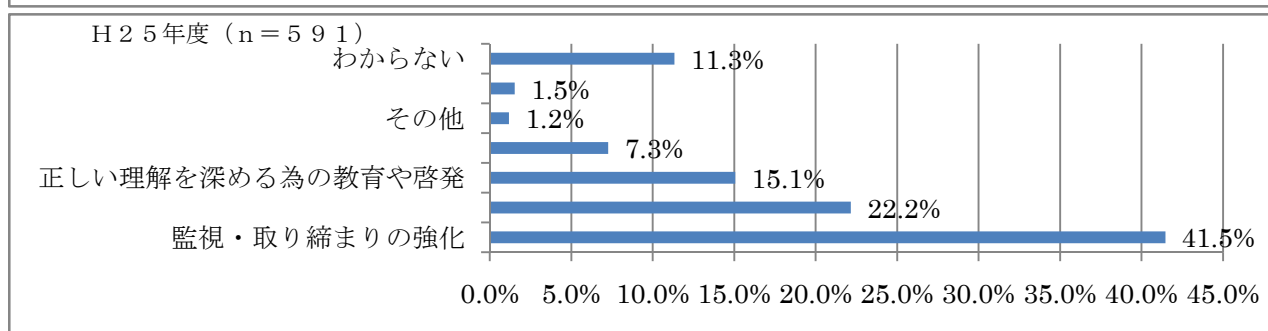
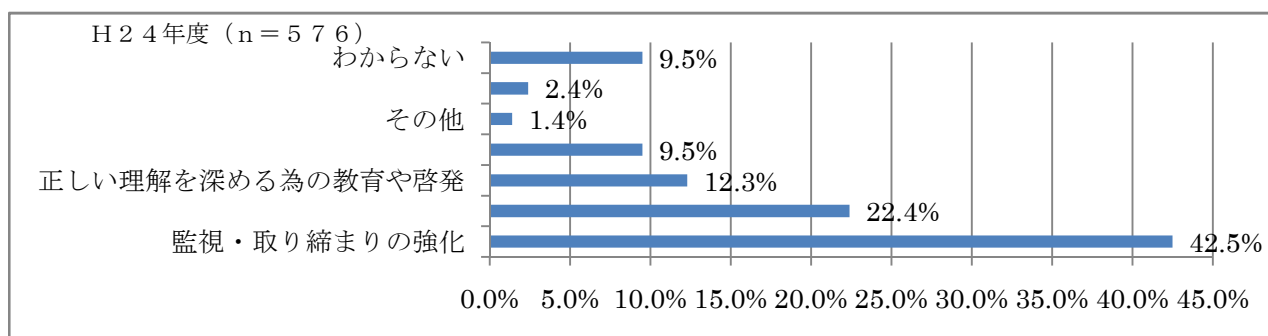
※自分や、周囲の人が突然犯罪による被害に遭ってしまう可能性があります。被害者支援活動の必要性や重要性を、身近な問題として考えてみましょう。

【インターネットによる人権侵害】問 23 インターネットによる人権侵害について、現在どのような問題が起きていると思いますか。



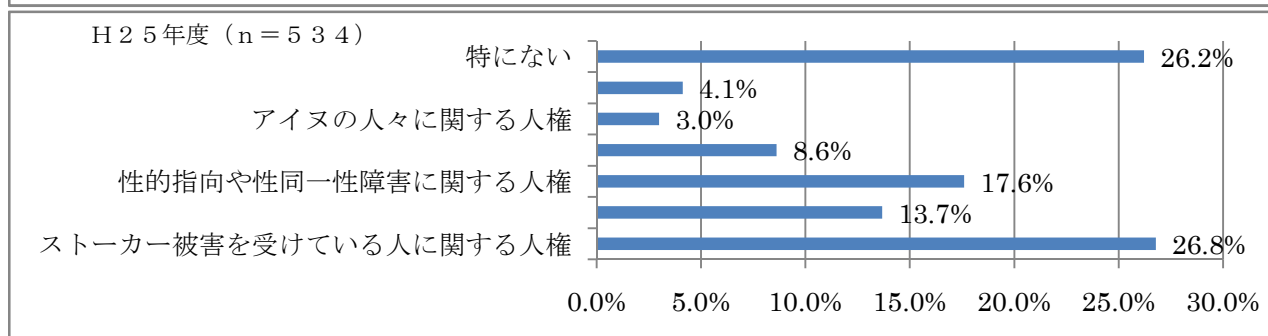
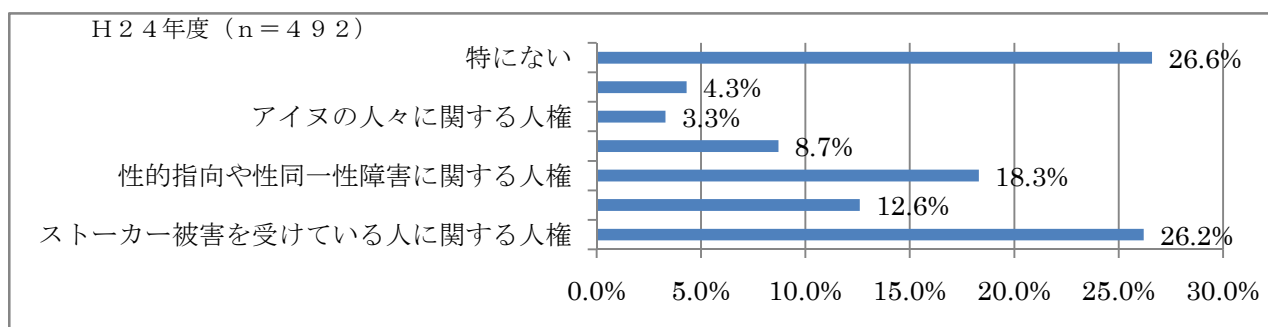
※差別する意思の有無にかかわらず、何気ない言葉でも人を傷つけてしまうことがあります。言葉に配慮しモラルを守って、インターネットを利用しましょう。

問 24 インターネットによる人権侵害問題を解決するためには、どのような事を行えばよいと思いますか。



※インターネットによる匿名性、情報の発信のしやすさを悪用した人権問題が起きています。インターネットの持つ社会的影響力を理解し、正しく利用しましょう。

【その他の人権問題】問 25 これまでの人権問題のほかに、関心をもっている人権問題がありますか。



※その他の人権問題については「特にない」と感じる人が多くいます。社会の多様化にもなって発生する、さまざまな人権問題について考えていくことが大切です。